校長室だより第 30 号（令和 8 年 11 月 4 日）

「かけ算九九」の話です。昨年度もこの時期に HP に掲載しました。昨年度とほぼ同じ内容の原稿なのですが、それは皆さんに、特に 2 年生の保護者の方々に「かけ算九九」の重要性を伝えたいからです。

算数 2 年下巻の教科書（どの会社の教科書でも）の最初が「かけ算」になっていて、秋から冬にかけて日本中の２年生が、かけ算九九を唱えています。

四則には「たし算」「ひき算」「かけ算」「わり算」があります。どの計算も大切なのですが、一番を選べと言われれば、私は間違いなく「かけ算」と答えます。

その基礎である「かけ算九九」を唱えられるか、唱えられないかは、今後の算数の学習の大きな岐路になるといっても過言ではないでしょう。

３年生以上の学習で「かけ算九九」を使う単元名を挙げてみます。

３年生・・「九九の表とかけ算」「わり算」「あまりのあるわり算」「何倍でしょう」
「計算のじゅんじょ」「かけ算の筆算１」「式と計算」「かけ算の筆算２」

４年生・・「わり算の筆算１」「大きな数の計算」「小数」「わり算の筆算２」
「割合」「式と計算のじゅんじょ」「面積」「がいすう」「図を使って考えよう」
「小数のかけ算わり算」「変わり方」

５年生・・「体積」「比例」「小数のかけ算」「小数のわり算」「倍数　公倍数」
「約数　公約数」「面積」「分数１」「図を使って考えよう」「平均」
「分数２」「単位量当たり」「割合」「表を使って考えよう」「円」
「割合のグラフ」「変わり方」

６年生・・「文字と式」「分数×整数」「分数÷整数」「分数×分数」「分数÷分数」
「円の面積」「体積」「比とその利用」「資料の調べ方」「表を使って考えよう」
「拡大縮小」「およその形と大きさ」「ともなって変わる２つの数量」
「比例　反比例」「場合を順序よく整理して」「図を使って考えよう」

と、こんなにあります。さらに細かくすると、５年生の分数では「通分」「約分」があり、円では円周の長さを求めるために「直径×３．１４」があります。それらも「かけ算九九」ができないと大変苦労します。

３年生以上の算数学習の半分以上に「かけ算九九」が使われています。九九ができないと、算数の授業がわからないだけでなく、つらいものになってしまうでしょう。だからこそ、２年生の今が大事なのです。３年生以上でも、「かけ算九九」が唱えられるかどうかを確かめておくとよいと思います。

家族でのちょっとした隙間時間に、テレビを見ていたとしたらCMの時に、車の中で、外食した時の注文のものが届くまでの時間などで、九九の学習をしてくれると嬉しいです。

もちろん、隙間時間ではなく、しっかりと向き合っていただけるとさらに嬉しいです。